

TOTTORI



鳥取の伝統工芸品



販売所
紹介付き♪

TRADITIONAL ARTS & CRAFTS



1

1 2 産地組合 鳥取県因州和紙協同組合
<http://inshu-washi.net/inshu-washi.htm>



2



因州和紙

因州和紙の起源は定かではありませんが、奈良時代の正倉院文書の中に、因幡の国で抄紙されたと推測される紙が保存され、平安時代の「延喜式（えんぎしき）」（九〇五年～九二七年編纂）に因幡の国から朝廷に紙が献上されたという記録があることから、一三〇〇年と言われる歴史があります。江戸時代には、藩の御用紙としても庶民の使う紙としても盛んに生産されました。

明治時代に入ると、海外や他県から生産技術を導入し、生産性を向上させ、その勢いは大正末期まで続きます。

昭和に入り、洋紙の生産力が上がり、庶民が使用する紙は洋紙が中心になっていきます。さらに戦後、コピー機の台頭や生活様式の変化で、それまでの主力製品であった事務用薄葉紙や障子紙等の需要が激減しました。そこで因州和紙は新製品として画仙用紙等



の書道用紙と工芸紙、染色紙を開発、特に手漉きの高級画仙用紙は日本有数の生産量を誇っています。書き心地が良く、他の和紙では一枚しか書けないところが二枚書けるほど墨の減りが少ないとから「因州筆切れず」と言われ、全国の書道家に愛用されています。そして今、因州和紙は、立体形状の紙や写真プリント用和紙の開発等、新製品の開発に力を注いでいます。因州和紙は常にそれぞれの時代に合わせ技術を導入し、新商品を開発しながら産地を維持してきたのです。

りませんが、奈良時代の正倉院文書の中に、因幡の国で抄紙されたと推測される紙が保存され、平安時代の「延喜式（えんぎしき）」（九〇五年～九二七年編纂）に因幡の国から朝廷に紙が献上されたという記録があることから、一三〇〇年と言われる歴史があります。江戸時代には、藩の御用紙としても庶民の使う紙としても盛んに生産されました。

の書道用紙と工芸紙、染色紙を開発、特に手漉きの高級画仙用紙は日本有数の生産量を誇っています。書き心地が良く、他の和紙では一枚しか書けないところが二枚書けるほど墨の減りが少ないとから「因州筆切れず」と言われ、全国の書道家に愛用されています。そして今、因州和紙は、立体形状の紙や写真プリント用和紙の開発等、新製品の開発に力を注いでいます。因州和紙は常にそれぞれの時代に合わせ技術を導入し、新商品を開発しながら産地を維持してきたのです。

伝統工芸士
 経済産業大臣が指定する
 伝統的工芸品を製造する技術者のうち、
 実務経験が十二年以上あり、
 産地組合の技術及び知識試験に合格し、
 伝統的工芸品産業振興協会に認定された者。

鳥取県伝統工芸士
 鳥取県郷土工（民）芸品を
 製造する技術者のうち、
 実務経験が十年以上あり、
 その高度な伝統的技術・技法を有するものとして
 鳥取県知事に認定された者。

伝統的工芸品産業の振興に関する
 法律に基づき百年以上の歴史を有し、
 産地が形成されている工芸品として
 経済産業大臣が指定したもの。

伝統的工芸品



鳥取県郷土工（民）芸品

主に日常生活に使われる
 伝統的な手仕事の技法と伝統的な
 原材料により製造される工芸品として
 鳥取県知事が指定したもの。



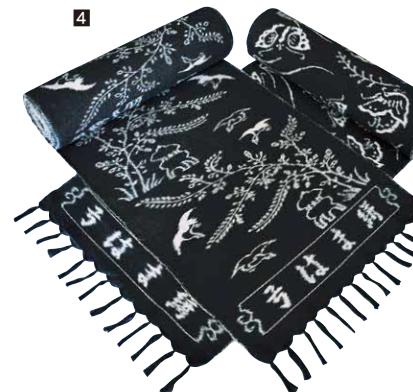
織物・染物

弓浜紺

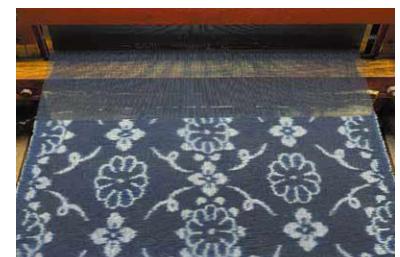
ゆみはまがすり

江戸時代前期に農家の主婦たちが家族のために仕事着・普段着・布団等を織り始めたのが弓浜紺の起源です。家族の健康と繁栄を祈つて織られたため、縁起の良い「鶴亀松竹梅」などがいまも弓浜紺を代表する模様で、その絵柄の素朴さと、ざつくりした風合いに落ち着いた藍染の紺と白のコントラスト、さらに吸湿・保温性に富んだ線素材が大きな特徴です。化学繊維の発達とともに弓浜紺は衰退していきましたが、伝統的な手織りの良さが見直され、現在は着物地だけでなくテーブルセンター、バッグ、髪留めなど新しい

製品が作られています。弓浜紺には、地元で農薬・化学肥料なしで栽培される伯州綿も使われます。伯州綿も江戸時代に砂地でも栽培できる農作物として生産が始まりました。伯州綿は繊維が短く加工が難しいのですが、弾力があつて、軽くて暖かいのが特徴です。



3



[生産者]
③鳥取弓浜 中村括り
☎ 090-5695-9384
米子市上福原738-5

④ごとう紺店
☎ 0859-21-9063
米子市彦名町4261-1

⑤村上紺織物
☎ 0859-28-8385
米子市和田町922

[産地組合]
■鳥取県弓浜紺協同組合
☎ 090-5695-9384



倉吉紺

くらよしがすり

倉吉紺の起源は、江戸時代末期といわれています。美術的で精巧な柄を持つた絵紺が特徴です。明治時代、船木・桑田工場から出品した紺は、諸外国の万国博覧会で受賞するなど、名声を博しました。現在では、紺の美しさに魅せられた人たちがその技法を学び、受け継いでいます。

筒書き

つつがき

筒書きは、渋紙の筒にモチ粉などで作った染めを防ぐのりを入れ、筒の先からのりを押し出して布に模様の輪郭を描く技法です。代表的なのが大漁旗で、境港や隱岐島等の漁業関係者の需要に応えるほか、暖簾や法被なども制作しています。



綾綴紺

あやつづれおり

倉吉紺を手ほどきに織りを始めた吉田祐氏が、倉吉に伝わる「風通(ふうつう)」織・そしき織の伝書」を解読し、多継続による織物を試みました。さらに他産地の織物を研究する中から編み出した技法をもとに製作しています。

大山友禅染

だいせんゆうぜんぞめ

絹や木綿等の天然繊維に伝統技法や現代技法を用い、着物から小物まで制作しています。「色を染めて、布を染めて、心を染めて」をキヤッチフレーズに伝統美だけでなく、現代美をも表現できる染色を目指しています。



[生産者]
■手描染アトリエカワハラ
☎ 0859-52-3502
西伯郡伯耆町金屋谷1692-19

[生産者]
■松田染物店
☎ 0859-22-3358
米子市紺屋町47

陶磁器

岩井窯

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



[生産者]
■クラフト館 岩井窯
☎ 0857-73-0339
岩美郡岩美町宇治134-1

牛ノ戸焼

昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれてています。



[生産者]
■牛ノ戸焼窯元
☎ 0858-85-0655
鳥取市河原町牛戸185

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。

因久山焼

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。



[生産者]
■因久山焼窯元
☎ 0858-72-0278
八頭郡八頭町久能寺649

[生産者]
■因州・中井窯
☎ 0858-85-0239
鳥取市河原町中井243-5



浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。

浦富焼

[生産者]
■浦富焼窯元
☎ 0857-72-0255
岩美郡岩美町浦富3174-3



[生産者]
■延興寺窯
☎ 0857-73-1219
岩美郡岩美町延興寺525-4



延興寺窯

昭和五四年春に開窯しました。地元の陶土・釉薬原料を活用して、手仕事の伝統継承と展開を目標に、日々の生活を潤す作品づくりに取組んでいます。糊灰や黒石(泥岩)を使った独自の釉薬は、用の美を重視した無駄のない造形に深みを与えてています。

陶磁器

岩井窯

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



[生産者]
■クラフト館 岩井窯
☎ 0857-73-0339
岩美郡岩美町宇治134-1

牛ノ戸焼

昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれてています。



[生産者]
■牛ノ戸焼窯元
☎ 0858-85-0655
鳥取市河原町牛戸185

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。

因久山焼

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。



[生産者]
■因久山焼窯元
☎ 0858-72-0278
八頭郡八頭町久能寺649

[生産者]
■因州・中井窯
☎ 0858-85-0239
鳥取市河原町中井243-5



浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。

浦富焼

[生産者]
■浦富焼窯元
☎ 0857-72-0255
岩美郡岩美町浦富3174-3



[生産者]
■延興寺窯
☎ 0857-73-1219
岩美郡岩美町延興寺525-4



陶磁器

岩井窯

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



[生産者]
■クラフト館 岩井窯
☎ 0857-73-0339
岩美郡岩美町宇治134-1

牛ノ戸焼

昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれてています。



[生産者]
■牛ノ戸焼窯元
☎ 0858-85-0655
鳥取市河原町牛戸185

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。

因久山焼

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。



[生産者]
■因久山焼窯元
☎ 0858-72-0278
八頭郡八頭町久能寺649

[生産者]
■因州・中井窯
☎ 0858-85-0239
鳥取市河原町中井243-5



浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。

浦富焼

[生産者]
■浦富焼窯元
☎ 0857-72-0255
岩美郡岩美町浦富3174-3



[生産者]
■延興寺窯
☎ 0857-73-1219
岩美郡岩美町延興寺525-4



陶磁器

岩井窯

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



[生産者]
■クラフト館 岩井窯
☎ 0857-73-0339
岩美郡岩美町宇治134-1

牛ノ戸焼

昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれてています。



[生産者]
■牛ノ戸焼窯元
☎ 0858-85-0655
鳥取市河原町牛戸185

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。

因久山焼

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特的の味わいを出しています。



[生産者]
■因久山焼窯元
☎ 0858-72-0278
八頭郡八頭町久能寺649

[生産者]
■因州・中井窯
☎ 0858-85-0239
鳥取市河原町中井243-5



浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。

浦富焼

[生産者]
■浦富焼窯元
☎ 0857-72-0255
岩美郡岩美町浦富3174-3



[生産者]
■延興寺窯
☎ 0857-73-1219
岩美郡岩美町延興寺525-4



陶磁器

山根窯

やまねがま

昭和六十年春、青谷町山根の地に開窯しました。蹴り口クロを使い、登り窯にて焼成しています。伝統的な仕事の中に明るく健康な暮らしの器を目指し作り続けています。



[生産者]
■山根窯
☎ 0857-86-0531
鳥取市青谷町山根190-1

国造焼

こくぞうやき

明治二十三年に創業。不入岡の近くには伯耆のみやっこをまつた大将像があり「こくぞうさん」と呼び親しまれていたことから、その名にあやかって昭和五十年に初代が「国造焼」として創始しました。焼締め窯変の花器などのほか、わら灰釉等の釉薬を施した日常のシンプルな造形のうつわを製作しています。



[生産者]
■国造焼
☎ 0858-22-8388
倉吉市不入岡390

鉄による黒釉(黒化粧)と飴釉とのコントラストを生かし、高台は深く削り出し、薄手ながらも重厚な作風が特徴です。登り窯にて焼成、出来上がるまでのプロセスを楽しみ、心安らぐ器作りを目指しています。

福光焼

ふくみつやき



[生産者]
■福光焼
☎ 0858-28-0605
倉吉市福光800-1

上神焼

かづわやき

この地方では、古くから伯尾山、伯州尾山といった名称で製陶が行われていました。現在の上神焼元は、昭和一八年に初代窯主によりて築かれたもので、京風の作りに地方色をとりいれて、伝統と新しい手法で焼成するのが特徴です。



[生産者]
■上神焼窯元
☎ 0858-22-8389
倉吉市不入岡395

大山焼久古窯

だいせんやきくこがま



大正時代に焼かれていた大山焼を再興し、昭和四五年開窯、素朴さと現代感覚をそなえた焼き物を製作しています。鉄釉を主として使用・研究し、変化に富んだ魅力ある陶磁器で、玉鋼耀天目をはじめ、青瓷・油滴・均窯・灰釉等を焼いています。

[生産者]
■大山焼久古窯
☎ 0859-68-2098
伯耆町久古1401

法勝寺焼松花窯

ほつしょうじやきしょうかがま



昭和三六年に、法勝寺焼二代目が松花窯の脇窯として皆生に登り窯を築いたのが始まり。手法、焼成は、法勝寺焼松花窯と同じものですが、皆生の砂、日野川河口の砂鉄を粘土や釉薬の中に混ぜるなどの新しい技法を取り入れて製作が続けられています。

[生産者]
■法勝寺焼皆生窯
☎ 0859-33-2826
米子市皆生温泉2-19-52

法勝寺焼皆生窯

ほつしょうじやきかいけがま



昭和三六年に、法勝寺焼二代目が松花窯の脇窯として皆生に登り窯を築いたのが始まり。手法、焼成は、法勝寺焼松花窯と同じものですが、皆生の砂、日野川河口の砂鉄を粘土や釉薬の中に混ぜるなどの新しい技法を取り入れて製作が続けられています。

漆器芸



かつて県内各地にあつた漆塗りの技法を研究し、平成十五年から漆器を製造しています。良質の県内産漆や地元の素材や技術を生かした新しい製品づくりにも挑戦しています。

[生産者]
■會州堂
☎ 0858-75-2228
八頭郡智頭町山根119

漆芸



[生産者]
■會州堂
☎ 0858-75-2228
八頭郡智頭町山根119

約二五〇年前、江州(滋賀県)の陶工丈助により製陶が始められたと伝えられています。会見焼と呼ばれた時期もありましたが、この伝統を受け継ぎ、明治三八年に初代が築窯して法勝寺焼を創設。土瓶などに良く表れている焼き上がりの柔らかみが特徴です。

[生産者]
■法勝寺焼松花窯
☎ 0859-66-2052
西伯郡南部町落合257

木製品

麒麟獅子



江戸時代より、平和を願い舞い継がれている麒麟獅子は、お祭りやお正月に、ところによつては結婚式でも舞われる因幡地方（鳥取県東部）に伝わる独特的の伝統芸能です。この貴重な風習が後世に受け継がれるように、獅子頭の復元制作、修理を行い、ミニチュアの置物、壁掛けも製作しています。



桐の歴史は古く、天平の昔に雅楽面などの歌舞用具に使われていました。家具の発達に伴い、鎌倉時代には鎧櫃・刀剣箱・富裕階層の高級調度品などに使われるようになりました。桐箱は、収納物を湿気から守り、軽い・狂いがない・燃えにくいなどの特性があるため、現在では、掛け軸箱・茶碗箱・茶道具入・屏風入・花瓶箱・色紙箱などが作られています。



[生産者]
■大谷桐工
☎ 0858-72-0558
八頭郡八頭町船岡1827-1

桐箱



■小林挽物店
☎ 0858-82-1530
八頭郡若桜町若桜67



■川口淳平商店
☎ 0859-32-8650
米子市上福原3-8-7



■■鳥取民芸木工
☎ 0858-28-3037
倉吉市黒見407-1

杉・檜・松・栗・櫻・柄・ブナ・槐など古くから使わってきた豊かな材料を求めて昔から往来していた木地師や、城下町に住む武士達の日用調度品を作る御用職人が地道にその伝統技術を伝えてきました。昭和初期の民芸運動以来、時代に合った木工品が盛んに作られるようになり、今も各地にその気風が息づいています。

挽物・刳物・指物・松江藩籬細工

ひきもの・くりもの・さしもの

杉・檜・松・栗・櫻・柄・ブナ・槐など古くから使わってきた

豊かな材料を求めて昔から往来していた木地師や、城下町に住む武士達の日用調度品を作る御用職人が地道にその伝統技術を伝えてきました。昭和初期の民芸運動以来、時代に合った木工品が盛んに作られるようになり、今も各地にその

気風が息づいています。

竹製品

竹細工

弾力性に富み、耐久性に優れる竹は、古くから様々な形に使用されてきました。鳥取県の竹細工は主に庶民の生活に密着した日常道具として発展しました。近年は民芸としての素朴な美しさが注目されています。



[生産者]
■仁人竹工房
☎ 0857-29-4392
鳥取市末広温泉町114

淀江傘

淀江傘の起源は江戸時代文政四年と言われています。番傘、蛇の目傘など実用に富み丈夫なことで知られ、蛇の目の形（亀甲、梅型）や特有の糸飾りに特色があります。



[生産者]
■淀江傘伝承の会
☎ 0859-56-6176
米子市淀江町淀江796

因幡の踊り傘

因幡の踊り傘は、江戸末期から伝わる雨乞い踊りに剣舞の型を取り入れた勇壮な振り付けを使用される傘です。現在は、粘りがあり、より耐久性のある真竹と丈夫な因州和紙を使用し、骨の割りを大きくするなど、強さ、耐久性を主眼に製作しています。



[生産者]
■竹扇堂
☎ 0857-29-8284
鳥取市行徳2-432

その他

鹿野すげ笠

しかのすげがさ

鹿野すげ笠の起源は、約四〇〇年前、鹿野城主龜井茲矩が農村振興の一助に、副業として奨励したことから始まっています。昭和の半ばまで、田畠での農作業用笠として晴雨によらず使用された必需品でした。昔は、軽く、晴れた日は乾燥して縮んで通気性が良くなり、雨の日は湿気で膨らむため、笠の目が詰まり雨を通さないとという利点があります。



[生産者]
■鹿野すげ笠を守る会
☎ 0857-84-2720
鳥取市鹿野町鹿野1381



[生産者]
■大柄太鼓店
☎ 0859-82-0362
日野郡日南町三栄1766

江戸時代から二〇〇余年にわたり伝統と技を受け継がれてきた和太鼓は、胴となるケヤキ、牛皮のなめし、そして熟練された技が三位一休となつて生まれます。精魂込めて作り上げた太鼓の一つ一つに魂が宿り、その鼓動が迫力ある響きとなつて感動を伝えます。

和太鼓

わだいこ

起源は奈良、平安時代といわれ江戸時代に盛んになりました。石材に来待石（きまちいし）という粒子に細かい軟質の砂岩を使用しており、色彩もよく、早く苔による古色を帶びてきます。また、耐熱耐寒性に優れ、風化しにくく上に加工しやすいという長所があります。

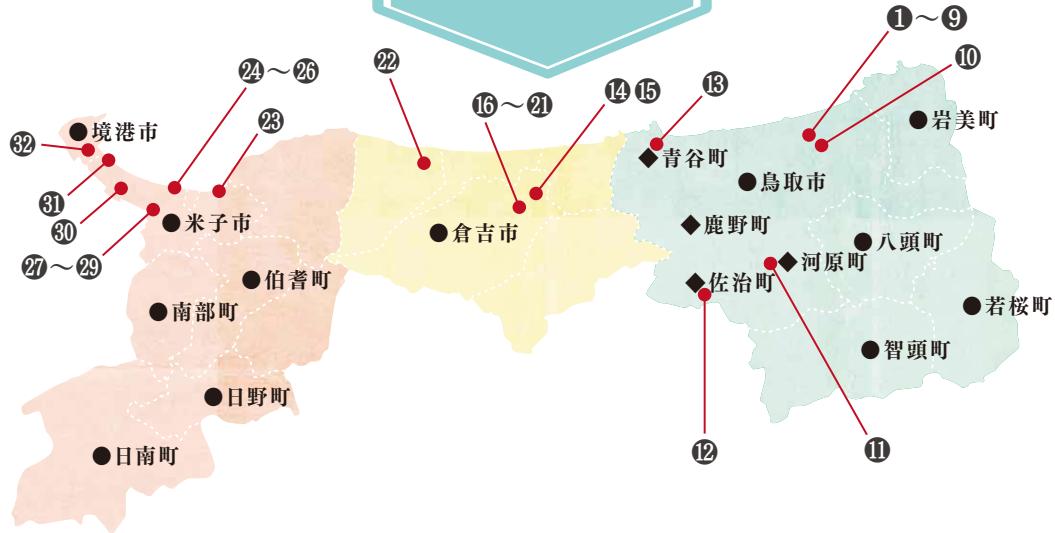


[生産者]
■富永石材店
☎ 0859-42-6328
境港市外江町2025-1

[産地組合]
■鳥取県出雲石灯ろう協同組合
☎ 0859-42-6328
境港市外江町2025-1

郷土玩具

伝統工芸品 マップと 手仕事品 販売所紹介



- 境港市
 - ・弓浜紺
 - ・出雲石灯ろう*
- 南部町
 - ・法勝寺焼
 - ・松花窯
- 日野町
 - ・剣物・挽物
- 日南町
 - ・和太鼓

- 米子市
 - ・弓浜紺
 - ・簡書き
 - ・法勝寺焼
 - ・皆生窯
 - ・淀江傘
 - ・松江藩籠細工
- 伯耆町
 - ・大山友禅染
 - ・大山焼久古窯

- 倉吉市
 - ・倉吉紺
 - ・綾織織
 - ・福光焼
 - ・皆生窯
 - ・上神焼
 - ・国造焼
 - ・はこた人形*
 - ・竹細工
 - ・剣物・指物
- ◆ 鳥取市
 - ・麒麟獅子
 - ・竹細工
 - ・因幡の踊り傘
 - ・流しひな*
- ◆ 河原町
 - ・牛ノ戸焼
 - ・因州・中井窯
 - ・はこた人形*
 - ・竹細工
 - ・剣物・指物
- ◆ 佐治町
 - ・因州和紙
- 鳥取市
 - ・麒麟獅子
 - ・竹細工
 - ・因幡の踊り傘
 - ・流しひな*
- ◆ 青谷町
 - ・因州和紙
 - ・山根窯
- 岩美町
 - ・岩井窯
 - ・延興寺窯
 - ・浦富焼
 - ・木彫人形十二支
- 岩美町
 - ・岩井窯
 - ・延興寺窯
 - ・浦富焼
 - ・木彫人形十二支
- 鹿野町
 - ・鹿野すげ笠*
 - ・因久山焼
 - ・桐箱
 - ・麒麟獅子
- 八頭町
 - ・因久山焼
 - ・桐箱
 - ・麒麟獅子
- 若桜町
 - ・挽物
 - ・土鈴
 - ・鍛冶製品*
- 智頭町
 - ・漆器

「*」は現在のところ伝統工芸士不在だが、保存会などにより生産されている。

土鈴の歴史は縄文時代とされます。魔除けの力を持つといわれ、祭礼用に用いられてきました。現在では、歴史や祭礼縁起など地域にちなんだ土鈴や、干支の土鈴などを手作りで製作し、地域の情報発信にも役立っています。

土鈴



[生産者]
㉙因州若桜焼
☎ 0858-82-1217
八頭郡若桜町若桜1173

約二〇〇年前、本地師小椋佐兵衛が、挽物を製作したのが始まりです。その流れをくむ小椋家七代目に、より、従来の挽物に独創的なデザインと技術を加えて木彫人形十二支が製作されました。全体を挽物細工で作り、泥絵具で彩色したもので、素朴な中にも斬新な趣があります。



[生産者]
㉙おぐら屋
☎ 0857-72-0520
岩美郡岩美町岩井319

江戸時代に備後の国から行商に来た備後屋治兵衛が、倉吉の素朴でつましやかな娘に惹かれ、これを人形にしたといわれています。桐の木型に和紙を張り重ね、張り子を型から抜き取り、胡粉で下地を塗り、泥絵具で彩色し、にかわでつや出をした張り子細工です。

はこた人形



[生産者]
㉙はこた人形工房
☎ 090-1185-9732
倉吉市魚町2529

木彫人形十二支

きぼりにんぎょうじゅうにし

1 鳥取県立博物館 ミュージアムショップコーナー

「博物館内の民工芸品販売コーナー」

【品目】郷土玩具、和紙、染織物、木工

鳥取市東町2-124 0857-27-9520 ①9時～17時 ④月曜不定休

2 城下町とつとり交流館 高砂屋

「鳥取県の主な民工芸品がそろいます」

【品目】竹、木工、和紙、染織物、陶磁器

鳥取市元大工町1 0857-29-9024 ①9時～17時 ④月曜(祝日の場合翌平日休)

3 工芸集

「浦富焼ならここ 各種体験教室も」

【品目】ガラス、木工、竹工、染織物、陶磁器

鳥取市川端1-104 0857-26-6156 ①10時半～17時半 ④木曜

4 鳥取市ふるさと物産館

「各種お土産販売から観光案内も」

【品目】郷土玩具、和紙、染織物、木工

鳥取市未広温泉町160 0857-36-3767 ①9時～19時 ④年末始

5 たくみ工芸店

「吉田璋也の開いた民芸品店」

【品目】木工、和紙、染織物、陶磁器

鳥取市栄町651 0857-26-2367 ①10時～18時 ④水曜

6 SORA ギャラリーショップ

「若手作家の手仕事を幅広く紹介」

【品目】ガラス、木工、竹工、染織物ほか

鳥取市栄町658-3 0857-29-1622 ①11時～17時 ④水曜

7 ホテルニューオータニ

「ホテル内の伝統工芸品販売コーナー」

【品目】木工、和紙、陶磁器、郷土玩具

鳥取市今町2-153 0857-23-1111 ①8時～20時

8 竹豊工芸

「創業60年を超える竹製品の老舗」

【品目】和紙、染織物、木工、竹工、陶磁器

鳥取市東品治町113 0857-22-3295 ①10時～16時 ④月曜

9 くらしのいろいろ アムズ

「オリジナル商品も含む工芸品を幅広く販売」

【品目】陶磁器、郷土玩具

鳥取市行徳1-155 0857-22-0505 ①10時～19時 ④年中無休(1月1日は休業)

10 器屋 うらの

「山陰の窯元の陶磁器を販売」

【品目】陶磁器

鳥取市雲山173 0857-21-1616 ①10時～17時 ④不定休

11 道の駅 清流茶屋かわはら

「鳥取県東部の民工芸品を販売」

【品目】木工、和紙、陶磁器

鳥取市河原町高福837 0858-85-6205 ①9時～19時(3～11月)

12 和紙工房 かみんぐさじ

「佐治地区的因州和紙ならここ」

【品目】和紙

鳥取市佐治町福園146-4 0858-89-1816 ①9時～16時半 ④水曜

13 あおや和紙工房

「因州和紙製品を販売」

【品目】和紙

鳥取市青谷町山根313 0857-86-6060 ①9時～17時 ④月曜(祝日の場合翌平日休)

14 駅ヨコプラザ

「倉吉駅併設 食品の品揃えも豊富」

【品目】和紙、郷土玩具、陶磁器

倉吉市上井195-12 0858-24-5333 ①7時半～19時半

15 Rodzina Kitchen パーブルタウン

「中部の工芸品を楽しむならこちら」

【品目】陶磁器

倉吉市山根557-1 0858-48-1171 ①10時～19時

16 はこた人形工房

「倉吉の郷土玩具 “はこた人形”を製造・販売」

【品目】郷土玩具

倉吉市魚町2529 090-1185-9732 ①10時～17時 ④水曜

17 saon

「自作の吹きガラスを販売」

【品目】ガラス

倉吉市魚町2521-1F 0858-38-9023 ①10時～18時 ④火曜

18 COCOROSTORE

「山陰の民工芸品にふれるならこちら」

【品目】陶磁器、郷土玩具、木工、和紙、ガラス、竹工

倉吉市魚町2516 0858-22-3526 ①10時～18時 ④月火曜、日曜(不定休)

「山陰の窯元の陶磁器を販売」

32 永見呉服店

「博物館内での弓浜絣販売」

31 山陰伯耆国
米子アジア博物館

「歴史ある洋館内での工芸品販売」

28 米子市立山陰歴史館

染織物 [品目]

染織物 [品目]

陶磁器など
和紙
染織物
郷土玩具

【品目】

陶磁器など

境港市小篠津町1136
0859-45-0338
①9時半～18時半
④木曜

米子市大篠津町57
0859-25-1251
①9時～16時半
④月曜(祝祭日の場合翌日)

米子市中町20
0859-22-7161
①9時半～18時(入館17時半)
④火曜(その他休日WEB参照)

鳥取県へのアクセス

【自動車】

	鳥取	倉吉	米子
東京	8時間	8時間40分	8時間40分
大阪	2時間30分	3時間20分	3時間20分
岡山	2時間30分	3時間	2時間
広島	4時間	3時間20分	3時間
福岡	7時間10分	6時間40分	6時間

【列車】

東京・名古屋・京阪神方面	鳥取	大阪～鳥取 約2時間20分 智頭急行「特急スーパーはくと」
九州・山陽方面		岡山～鳥取 約1時間40分 智頭線・因美線「特急スーパーいなば」
東京・名古屋・京阪神・ 九州・山陽方面	米子	岡山～米子 約2時間 伯備線「特急やくも」

【飛行機*】

東京(羽田空港) ~ 全日空(ANA) ~ 鳥取砂丘コナン空港	1時間15分
東京(羽田空港) ~ 全日空(ANA) ~ 米子鬼太郎空港	1時間20分

*発着時刻、運行状況等は航空会社HPなどでご確認ください。
※鳥取砂丘コナン空港～鳥取駅(約20分)、米子鬼太郎空港～米子駅(約30分)に連絡バスがあります。

「山陰のいいものセレクトショップ」

25 今井書店 本の学校内しまとり

「こだわりセレクトの工芸品を展示販売」

22 ごろねこ民芸庵

「様々な種類の竹製品を販売」

19 中野竹藝

染織物 [品目]

陶磁器 [品目]

染織物 [品目]

陶磁器 [品目]

竹工 [品目]

米子市新開2-3-10
0859-21-4050
①9時～21時

東伯郡琴浦町三保144
①11時～17時
④火～木曜

倉吉市東仲町2573
0858-23-7500
①9時～17時
④不定休

「山陰の美しい器」

29 C N o i r

「弓浜絣、陶磁器、木工を販売」

26 米子天満屋 3階紳士服売場とりくもびいきコーナー

「淀江傘の生産拠点」

23 淀江和傘伝承館

「ギャラリー・展示スペースもあり」

20 民芸TAKAKI (土蔵そば)

陶磁器 [品目]

染織物 [品目]

和傘 [品目]

陶磁器 [品目]

和紙
陶磁器
郷土玩具

和紙
陶磁器
郷土玩具

米子市尾高町73
0859-22-4341
①平日10時～19時
④土日祝12時～19時④不定休

米子市西福原2-1-10
0859-35-1251
①10時～19時半

米子市淀江町淀江796
0859-56-6176
①9時～17時
④日・祝・月曜

倉吉市新町1-2429-5
0858-23-1821
①10時～17時
④木曜

「弓浜絣の製造直売店で種類豊富」

30 ごとう絣店

「鳥取・島根の手仕事作家作品を販売」

27 J U 米子高島屋 4階ギャラリーEN

「KAIKEテラス内の伝統工芸体験型施設」

24 結 Musubi

「店内には貴重な織り機の展示も」

21 倉吉ふるさと工芸館

染織物 [品目]

木工
染織物
郷土玩具

染織物 [品目]

和紙
木工
陶磁器

染織物 [品目]

陶磁器 [品目]

米子市彦名町4261-1
0859-21-9063
①訪問時要連絡

米子市角盤町1-30
0859-22-1111
①10時～18時

米子市皆生温泉4-22-33
0859-21-3131
①各日営業時間WEB参照
④水・木曜

倉吉市東仲町2606
0858-23-2255
①9時～17時
④水曜・年末年始

